

(別紙2-1)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年10月22日

【評価実施概要】

事業所番号	4270202882		
法人名	有限会社 グリーンケアはりお		
事業所名	グループホームかえて荘		
所在地	長崎県佐世保市針尾東町977番地5 (電話) 0956-58-5521		
評価機関名	特定非営利活動法人 医療・福祉ネットワークせいわ		
所在地	佐賀県佐賀市木原二丁目6番5号		
訪問調査日	2007年9月6日	評価確定日	2007年11月7日

【情報提供票より】 (19年 4月10日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)16年	4月	1日
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	19 人	常勤	16人, 非常勤 2人, 常勤換算 18人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨	造り
	1階建ての	1～1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	25,500 円	その他の経費(月額)	13,950+実費 円
敷金	有(円)	(無)	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	150 円	昼食 250 円
	夕食	350 円	おやつ 50 円
	または1日当たり	800 円	

(4) 利用者の概要 (4月10日現在)

利用者人数	18名	男性	7名	女性	11名
要介護1	8名	要介護2	3名		
要介護3	3名	要介護4	1名		
要介護5	2名	要支援2	1名		
年齢	平均 81.4歳	最低	57歳	最高	98歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	麻生胃腸科外科医院 針尾診療所 真珠園診療所 松永歯科
---------	-----------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは、国道沿いに位置し、木の質感を大切に考えられた平屋建てで、中に二つのユニットが設けられています。敷地内には温室(バナナ栽培)やニワトリ小屋・畑などがあり、収穫物を食したり行事に活用したりされています。ご利用者は、室内で小型犬と共に過ごされたり、敷地内を散歩されたりと思いに過ごされています。運営者を含む幹部は、スタッフ育成を大切に考え、スタッフ研修などへの取り組みも積極的です。スタッフは担当制になっており、きめ細かな対応を心掛けられ、ご家族との関係も良好で、ご家族の行事への参加や面会も多いホームです。また、障害者雇用を実現されるなど地域福祉に関しても積極的なホームです。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価結果を踏まえた改善に取り組まれています。 改善課題を明確にされ、記録様式の見直しなど可能なことから取り組まれています。個別に確認すれば、まだ不十分な事項もありますが、今後更に改善していきたいといった積極的な姿勢がうかがえます。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 評価の意義などについてスタッフと話し合われています。 自己評価は各ユニットから5名選定され実施されています。今回の自己評価をもとに改善活動も開始されています。今後は自己評価をスタッフ全員と共に実施し、更なる課題の共有に努められることを期待します。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 始まったばかりの状況ですが、積極的な話し合いが実現されています。 地域との連携については、防災や危機管理、行事への関わりなど、建設的な話し合いが展開されています。今後は、地域の中でのご利用者の支援を更に充実するために、評価結果を活用し課題を共有化するなど、積極的な取り組みを期待します。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) ご家族の意見を聴取する仕組みがあります。 意見箱の設置や、年2~3回の家族会が開催されています。また、面会時のご家族への声かけにより意見を聴取するよう心掛けられています。今回は顕著な事例を確認できませんでしたので、今後は更にご家族の意見を聴取するよう努められ、運営に反映できるよう期待します。
重点項目③	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	運営推進会議をキッカケに地域連携が充実し始めています。 運営推進会議で話し合われた議題から、老人会へのホームについての説明会が実現しようとしています。今後も、地域へのご利用者の関わりやスタッフの関わりなど多面的な地域との関わりを重要視され、地域の中に根付いたホームとなれるよう今後の活動に期待します。

(別紙2-2)

2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念の共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「明るく豊かな環境で心安らぐホームづくり・質の高い介護サービスの提供」を理念に掲げ実践されています。	○	地域密着型サービスの役割について再考し、理念に反映させることが求められます。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は、玄関・ホール・事務所に掲示され、朝礼時の唱和やミーティング時等を活用した周知への取り組みが見受けられます。理念を題材にした研修にも参加されるなど積極的な活動が行われています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の介護施設の行事への参加事例は確認できましたが、現状積極的な取り組みは行えていないとのことです。現在、小学校との交流会を検討されています。	○	地域との関わりについては、その目的を明確にしたうえで、積極的な活動や工夫が必要となります。 現在検討中の小学校との交流会など、是非実現させて下さい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回評価結果を活かし改善が行われています。今回自己評価については、各ユニットからスタッフ5名づつを選定し実施されたとの事です。 当該制度の意義などについても、スタッフに浸透している状況でした。	○	自己評価については、事業所全体で取り組まれることにより課題等の真の共有化が図れます。今後は全てのスタッフで自己評価に取り組ませることを期待します。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議については今年の5月から開催されており、ホームの特性や役割を理解していただくための内容が議事録により確認できました。また、運営推進会議により老人会での説明会が開催されることとなったことが確認できました。	○	今後は、評価結果についての説明など議題を充実させ、地域を含めた課題の共有化に努めて頂くことを期待します。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村とは、いろんな連携が図れるように話し合うなど、取り組みの状況はヒアリングにより確認できました。具体的事例としては成年後見制度についての相談事例が確認できました。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	介護計画書の同意や毎月発行される「かえで荘だより」及びお便りによる状況報告の書き込みが確認できました。金銭管理の報告についても実施されていることがご利用者のご家族等のサインにより確認できました。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時の声かけなどにより働きかけが行われており、意見箱の設置や、年2～3回の家族会が開催されています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	ご利用者対応の仕組みとしては担当制となっており、担当の変更時はご家族への報告が実施されています。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月一回の内部研修がスタッフ間で講師を当番制にし実施されており、外部研修会の情報の回覧や必要性を考慮した研修会への参加指示など積極的な取り組みが行われています。しかし、研修計画は策定されていません。	○	スタッフ育成の面から、スタッフ一人ひとりの研修履歴等を把握し、教育計画を作成することが求められます。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	隔月開催のグループホーム連絡協議会への参加や地区内ホーム間での相互訪問が実施されており、スタッフへの良い刺激になっています。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	見学の受入記録は確認できませんでしたが、まず、見学をして頂くことから始められています。また、医療機関やご家族、介護支援専門員からの情報収集を行った上で、職員と協働での入居判定が実施され、状況に応じた入居時期等が決定されています。	○	馴染みながらのサービス利用への取り組みは見受けられますが、見学等入居前の記録が残っていないのは残念です。見学の受入時など入居前の情報の記録は、入居後の支援に対する有効な情報と捉え、活用できるよう整備されることが必要です。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	調理に関することや昔ながらの習慣など、ご利用者から教えられることは多々あり、訪問時には、ご利用者とスタッフの会話の中で共に支えあう会話が聴取できました。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中で意向の把握に努められています。ご利用者とご家族の意向の相違があったケースについても、県や市役所・裁判所・弁護士と打合せを行った上でのご利用者本位の対応事例が聴取できました。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	日々の関わりの中で聴取したご利用者やご家族からの情報、スタッフの気付きなどについてミーティング時に検討され、介護計画が決定されています。また、ご家族から介護計画書に同意を得る仕組みがあります。しかし、意向の反映など記録から明確に読み取ることができません。	○	ご利用者の意向やご家族等の情報、スタッフの気付きなどを積み上げ（総合的な情報の記録）、洩れなく介護計画作成情報として活用させる仕組みの構築が求められます。また、介護計画立案時のご家族の関わりについてもご検討下さい。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヵ月に一度、介護計画について評価し見直しが行われています。また、ご利用者の状態変化があった場合の随時の書き込みや削除など、介護計画の変更事例も確認できました。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ご利用者やご家族の状況に応じて、役所への相談など柔軟な支援が行われています。また、関連先で宅老所が運営され、法人内では有料老人ホームの開設が予定されております。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医はご利用者等の希望により選定され、月2回の内科の往診や歯科の往診も行われています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	医療的対応は准看護師である管理者が中心となり医療機関と連携が図られて対応されていますが、重度化や終末期に対する方針やご家族等と早期から話し合った記録などは確認できません。	○	事業所として現状を踏まえた上で、方針を明確にし、仕組みを構築する必要があります。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	言葉遣いや対応などご利用者のプライドに対する配慮は見受けられます。個人情報の漏洩防止などへの取り組みもうかがえます。しかし、個人情報保護法への対応は十分な状況とは言えません。	○	個人情報の利用目的や方針の整備及び同意確認などの早期対応が求められます。また、個人情報保護法についてのスタッフ全員の理解を深められることを推奨します。
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日の流れはありますが、声かけを積極的に行いご利用者の意向を踏まえた対応を心掛けてあります。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	訪問調査時には、ご利用者とスタッフが下ごしらえから後片づけまで協働されている姿が確認できました。食事中は、スタッフが同じ食事を同じテーブルで食し、スタッフを交えた会話が確認でき、支援が必要なご利用者対応も実施されていました。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は2日に一回で、曜日や時間帯が設定されています。ただし、ご利用者の希望に応じて設定時間外や別日でも対応されています。	○	入浴時間や曜日などを設定せず、利用者の希望に応じた柔軟な対応が今以上に可能になるよう、今後の体制整備に期待します。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事の挨拶の当番や水撒き、ニワトリの世話、家事など、ご利用者の状態に応じた役割があり、ドレッシングの合わせ方や味見役など、ご利用者の生活歴や職業歴などを活かした事例も聴取できました。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ご利用者の希望に添った支援を心掛けられており、天候に配慮したうえでの施設周りの散歩や近隣のお店での買い物なども支援されています。また、温室やニワトリ小屋など自由に敷地内を散歩されています。	○	ご利用者のみならず、ご家族との話し合いも重要です。ご家族の意向も聴取し、ご利用者本位の対応についてご家族と話し合われることもご検討下さい。
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	敷地が国道に面しているため、安全面から正面の門扉は施錠されていますが、裏門や玄関等は日中施錠されていません。敷地が広いのでその中でご利用者は自由に活動されています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回の消防訓練を実施され、消防士の講和や緊急連絡の訓練も実施されています。また、運営推進会議を通じて地域への協力依頼も行われています。しかし、食料品の備蓄や災害時の必要品などの準備は十分ではありません。	○	食料品の備蓄や必要品の準備など様々な災害を想定した対策が必要です。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立については、栄養士であるスタッフにより、バランスなどについて専門家の視点で検討されています。摂取量については毎回チェックされ記録に残されています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	壁は木造の温かみを大切にされており、季節に応じた手作りの作品やご利用者の好きな歌の歌詞などが掲げられています。広い空間に畳のスペースなども整備されており、各ユニットで小型犬がご利用者と共に生活しています。また、季節に応じた花々も飾られています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	持ち込み品には特に制限を設けられておらず、位牌などの持ち込みもあり、お茶やご飯が供えられています。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票を添付すること。